



明るく住みよい まちづくりをめざして



©テレビ新広島



バイきんぐ 西村瑞樹さん (お笑い芸人・府中町出身)

府中町出身の西村瑞樹さんにインタビューをしました。(P2~3掲載)
西村キャンプ場(テレビ新広島放送中)のロケで、岩谷観音にて撮影

はじめに

21世紀は「人権の世紀」と言われています。

しかし、今でも、世界各地で紛争が勃発し、多くの大切な命が失われている状況が続いており、私たちは「人間らしく幸せに生きるための権利」の重要性について常に考えさせられています。

人権は一人ひとりの意識によって築かれるものです。すべての人が尊重され、自分らしく生きることができ、社会の実現に向けて、大切なことは、「相手を理解しよつとする姿勢」です。

様々な状況に置かれた人に関心を持ち、理解を深め、お互いに認め合うことによつて、誰もが生きやすい社会の実現につながっていくのではないのでしょうか。

府中町では、明るく住みよいまちづくりをめざして、人権・男女共同参画啓発冊子を毎年発行し、全戸配布しています。

ぜひこの機会に家庭や地域の皆様と人権について考えていただき、「思いやりあふれるまち」になるよう、身近なことから取り組んでいただければ幸いです。

令和8(2026)年3月

府中町長 寺尾 光司

目次

ページ	1	人権擁護委員からのメッセージ「未来に伝えていくこと」
	2	インタビュー お笑いタレント バイきんぐ 西村瑞樹さん
	4	令和7年度「第44回 全国中学生人権作文コンテスト広島県大会」 府中町・広島地区大会入賞作品 「守られる人権」 府中緑ヶ丘中学校3年 今津由良
	6	令和7年度 府中町人権啓発書道コンテスト
	7	令和7年度 「いじめ防止のための標語」作品コンクール
	8	だれもが自分らしく生きられる社会へ
	10	再犯防止に向けて
	11	拉致問題に対する理解促進のための啓発事業
	12	府中町犯罪被害者等支援条例
	13	犯罪被害に関する様々な手続について、弁護士の支援が受けられます ひとりで悩まず相談してみませんか？

人権擁護委員 からの メッセージ

未来に伝えていくこと

府中町人権擁護委員

松本 真奈美

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動をしている民間ボランティアです。府中町では、六人の委員が活動しています。

令和七年、被爆八十年という大きな節目を迎えました。

戦争経験者や被爆者の方々が高齢化する今、若い世代が平和の文化を学び、その心を次の世代へとつないでいくことの大切さを、改めて強く感じています。

これから、私たちに何ができるのでしょうか。未来のために、ともに考え、行動していきたいと思っています。

被爆八十年プロジェクト「わたしがつなぐ」には、次のような思いが込められています。

被爆者の方々は、原爆の恐ろしさを、そしていのちの尊さを、何十年もかけて、数えきれないほど多くの場所で訴え続けてこられました。

その思いを受け止め、未来へと伝えていくことができるのは、まさに「いま」を生きる私たち一人ひとりです。

改めて、未来に伝えるべき大切なことを胸に刻み、決して風化させてはならないと強く感じています。

ユネスコ憲章の全文には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心に平和の砦を築かなければならない」と記されています。

私たち一人ひとりが、この「小さな平和の砦」を築いていき、未来へ伝え続けていくことが大切だと思います。

すべての命は、かけがえない大切なものです。

自分の命を大切にし、他者の命も尊重すること、それが人権尊重の根本につながります。

私たち人権擁護委員は、人権相談への対応や、人権啓発紙芝居の実施などを通して、町内の保育園や幼稚園を訪問しています。

また、小中学校では、「人権の花運動」に取り組み、花の苗やヒヤシンスの球根をお届けしています。花を育てる体験を通して、やさしさや思いやり、命の大切さを感じてほしいと願っています。

こうした活動を続けながら、大切な人の笑顔が未来へつながっていくよう、小さな声にも耳を傾け、寄り添い、解決へ向けて共に歩むことを心が

けています。

笑顔あふれる未来のために、これからも、あたたかな言葉を伝え続けていきたいと思えます。



インタビュー

お笑いタレント

バイきんぐ

西村 瑞樹さん



©テレビ新広島

“西村キャンプ場”（テレビ新広島 毎週土曜日
夕方5時放送中）でおなじみの西村瑞樹さん。
府中町出身とお聞きし、故郷府中町への思い、
仕事への思いなどお話を伺いました。

♪ キャンプだ、ホイ♪
♪ キャンプだ、ホイ♪
♪ キャンプだ、ホイ♪

ホイホイホイ♪

土曜日の夕方5時から流
れてくる陽気な音楽と楽し
いキャンプ風景、そしてと
びっきりの笑顔で、人気を
博している「西村キャン
プ場」に出演中の西村瑞樹さ
ん。

幼少期を過ごした府中町
への思い、仕事についての
思い、そして、府中町の子
どもたちへのメッセージな
ど話してくれました。

●きつかけは

高校の文化祭

高校二年生のときに、文
化祭で漫才をしたとき、漫
才がウケて、とても気持ち
良かったので、「お笑い」を
めざそうと思ったそうです。
アルバイトをして、お笑
いの養成所であるNSCの
入学資金を貯めてから、養
成所に入りました。
当初は、「二十五歳で天下
をとってやる！」そんな気持
ちで、お笑い人生をスター
トしました。

●相方とは運命の出会い

コンビを結成して三十年。
相方の小峠さんとの出会
いは高校三年生のとき。

「夏休みに、免許合宿に参
加するため、大分まで行きま
したが、小峠さんも、その合
宿に参加していました。免許
合宿では話さなかったのです
が、印象に残っていて・・・。
その後、NSCでの面接で再
会して、運命と思いました。
相方も、きつと思っていると
思います」と。

●簡単ではなかった

お笑いの世界

二十五歳で天下を取るは
ずだったお笑い芸人として
の人生。

「三十歳を過ぎた頃からさ
すがに焦り始めた」そうです。
しかし、三十歳を超えて、
ほかの仕事もないし、ライ
ブが好きなこともあり、自
分の好きなことを続けてい
こうと思ひ、お笑いの仕事
を続けていたら、その後、
四〜五年経ったところからテ
レビに出られるようになって
たそうです。

●好循環を生んだ

西村キャンプ場

「西村キャンプ場」は、番
組が始まって七年目。最初
は、単発特番で始まり、その
後レギュラー化されました。
初めて番組の話をもたら
たときは、好きなキャン
プの仕事の上に、番組名に
「西村」と名前が入っており、
「初めての冠番組」と思い、
うれしかったそうです。

「県内ではほとんどの場所
に行きました。放送が続く
中で、『西村キャンプ場だ』
と声をかけてもらうことが
どんどん増えていきました。
番組は、放送時間は違
いますが、県外でも放送さ
れており、県外でも声をか
けてもらうことが増えていま
す。

北海道で『西村キャン
プ場』と声をかけられたとき
は驚きました。北海道では、
深夜の放送だったので、さ
すがに声をかけられるとは
思っていませんでした。」と。
西村キャンプ場が軌道に
乗れば、ほかの仕事でもい
い影響が出るなど、好循環
を生んでいきました。



©テレビ新広島

●またやってみたい
視聴者との

一泊キャンプ

「番組のイベントで、視聴者の皆さんと実際に一泊するキャンプをしたとき、本当に楽しかったです。」

その後デイキャンプはしましたが、泊りはできていない。

人と触れ合うのが大好きなので、またやってみたい企画です。思い出のつまった水分峡でキャンプするのもいいですね。」想いは、膨らみます。

●体力が続く限り
単独ライブは続けたい

今後の目標について、

「人とダイレクトに関わることが大好きで、単独ライブの全国ツアーを継続しています。ダイレクトに反応が伝わるのがうれしいんですね。この単独ライブは、体力が続く限り続けていきたいと思っています」と笑顔で語ってくれました。

また、

「コンプライアンスの問題など大切な問題もありますが、テレビで、がっつり「お笑い」をしたいですね」と続けてくれました。

●府中の思い出
水分峡&城ヶ丘公園

府中町では、城ヶ丘に住まれており、府中北小学校出身。「水分峡は庭のようなもので、いろいろなルートを知っていて、ルートを変えながら、遊びに行っていました。いい思い出です。」

また、「小学校の頃は、ソフトボールをして、当時、

今でもそうかもしれません。五つの小学校に、ソフトボールのチームが二つずつあって、計十チームで大会をしていました。大会でホームランを打つなど活躍すると、町の広報紙に載るのが楽しみでした。

近所の城ヶ丘公園でもたくさん遊びました。最近でも、昔と変わってなくて、自分が滑った滑り台で、自分の子どもが滑って遊んでいる、親子で同じ遊具で遊べるのは感慨深かった。」そうです。

●天狗の足跡は
存在する？

「西村キャンプ場で、久しぶりに、岩谷観音まで行きました。相変わらず、きれいな眺望でした。このまま変わらないでほしいです。」

「その時に思ったのですが、岩谷観音に「天狗の足跡」というくぼみがあるのだよ。たような記憶があるので、そのときに発見できなかった・・・。気になってます」とも。

「天狗の足跡」はミステリーですね。

●子どもたちへ
チャレンジし続けて
ほしい

府中町の子どもたちに、

「いろいろなことに興味を持ってもらいたい。触れてもらいたい。チャレンジしてもらいたい。そして、何かやりたいこと、なりたいたいことがあったら、あきらめずに挑戦し続けてほしい。夢を持って・・・」とメッセージをくれました。

西村瑞樹さん、ありがとうございました。今後益々のご活躍を、応援しています。



©テレビ新広島

● PROFILE ●

西村 瑞樹 (Nishimura Mizuki)

1977年4月23日生
お笑いタレント、お笑いコンビ、
バイきんぐにて主にボケ担当。
小学校時代を府中町で育つ。
2012年、キングオブコントで優勝。
初の冠番組「西村キャンプ場」が
シーズン1・シーズン2の単発特番を経て、
2019年10月から、レギュラー化されている。



©テレビ新広島

令和7年度

「第44回全国中学生 人権作文コンテスト 広島県大会」 府中町・広島地区大会 入賞作品

このコンテストの作品は、「第44回全国中学生人権作文コンテスト広島県大会」府中町・広島地区大会の応募作品で、その中から、府中町人権擁護委員連絡協議会会長賞を受賞した、町内中学校生徒の作品です。

守られる人権

府中緑ヶ丘中学校三年 今津 由良

人権とは何か、この作文を書くまでそんなことを考えたことがなかった。

調べているうちに私が人間らしく、自分らしく生きることができるのは、私の人権が私のまわりの人によって守られているからだと思った。

私は小学校四年生のときに同じクラスの女子数人から陰で悪口を言われ、口をきいてもらえず仲間外れにされた。どのくらいの期間これが続いたのかは覚えていない。何がきつ

かけだったのか、それも今となっては覚えていない。小学四年生のときの私の頭の中はどつなっていたのか、何を感じて自分がどのくらい苦しんだのか。まだ幼かった私には、言葉で表現することは難しく、助けを求めする方法も知らず、ある日視力低下という形で表に現れた。

突然目が見えにくくなり、近くも遠くも見えなくなった。学校からの連絡で病院を受診した時、父だけが診療室に呼ばれた。

目に異常がなくても、幼少期には精神的な要因がこのように急な視力低下となって表れることがあると説明を受けたと後で聞いた。

視力低下に続き、同様のことが聴力にも現れて、母は学校へ行き担任の先生と長く話をしていた。

私にとっての救いは、先生からも両親からも「何に苦しんでいるの?」「何があったの?」「どうしてほしいの?」と理由や解決方法を聞き出すと急がされなかったことだと思う。



助けを求める方法や自分がどうすればこの環境から逃れることができるのか、変えることができるのか、幼いなりに自分の頭で考え、答えを見つける時間を与えてもらえたことは本当によかったと思う。

問題が起きて早く解決しなければいじめとして事が大きくなる可能性もあり、先生にとつても両親にとつても焦る気持ちもあったと思うが、私に合った対応の仕方を話し合っで見つけてくれようとしたことは、ありがたかった。

先生方は、相手の女子数人から話を聞き、解決方法を探ってくれた。

相手にもきつと言いつ分はあったのだと思う。

父は毎日話を聞いてくれた。私の言うことを一度も否定しなかったと思う。

母は私が一人になって孤独を感じないように、仕事を抜けて下校時にはつきそってくれた。

ある日の下校時、横断歩道で信号待ちをしている中に女子数人がいて、

こちらを見て何かヒソヒソ言っていた。自分のことを言われていると思いい、違う道から帰りたいと言ったが、母は私の手を引き、その女子数人の近くで私と信号待ちをした。「逃げずにいよう。」と言われた感じがした。

曖昧になっていく記憶の中でこの場面だけは今でも鮮明に覚えている。

相手の女子数人も、先生と話をしながら、反省し、変わろうとしている中で、私自身にも変化があったと思う。私にもきつと悪いところがあったと思いつ直そうと努力した。

不安はあったが明るくふるまうようにし、逃げずに自分から相手に話しかけることもした。相手も少しずつ話しかけてくれるようになり、中にはきちんと謝ってくれた子もいた。時間が経つ中で、いつの間にか普通の関係に戻り、今ではあんなこともあったねと笑い合えるようになった。

私の場合、お互いが変わろうと努力し、向かい合い共に成長した。

あの時の記憶が曖昧になって忘れかけているのは、解決し乗りこえたからだ。

どのくらいの期間だったか覚えていないが、振り返ると、小学四年生の間、私は一日も欠席していなかった。辛かったことの方が記憶に残ってしまいがちだが、私に優しく楽しい時間を与えてくれた友達もいたし、声をかけ続けてくれた先生方もいた。夢中になれた習い事もあったし、家に帰れば味方しかいなかった。

思い出すと、いやなことをしてきた相手のことより、そばで支えてくれた優しい人たちが頭に浮かぶ。

中には、私と同じような思いをしても解決できなかったり、助けを求められない人もいるかもしれない。そんな人がいたら、その人を救える立場になりたい。

私のした経験と、そのとき支えてくれた周りの人の優しさ、その人たちへの感謝を子どもたちに語れる大人になりたい。

府中町人権啓発書道コンテスト

このコンテストは、児童・生徒が書道を通じて、基本的人権について考え理解し、人を大切にする心を養うための機会とするものです。

今年度は、小学5・6年生1,046人、中学1年生444人、安芸府中高等学校58人の応募があり、町長賞13人、教育長賞26人、奨励賞126人が選ばれました。

町長賞



府小5年
奥村 俊士



南小5年
武馬 湊志



中央小5年
中村さくら



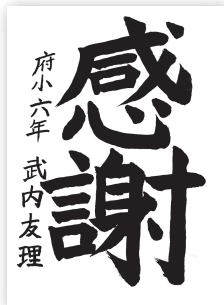
東小5年
吉川さやか



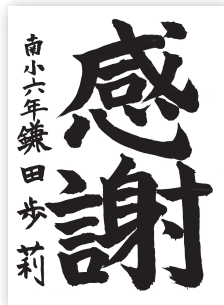
安芸府中高校1年
三戸 穂実



北小5年
松岡 葵



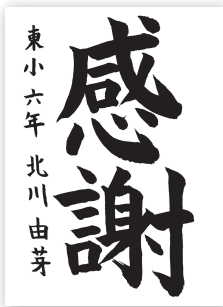
府小6年
武内 友理



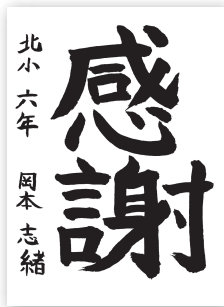
南小6年
鎌田 歩莉



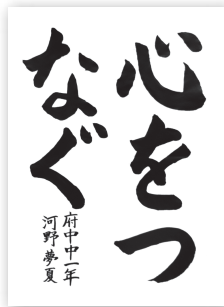
中央小6年
相原 心暖



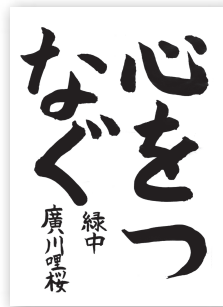
東小6年
北川 由芽



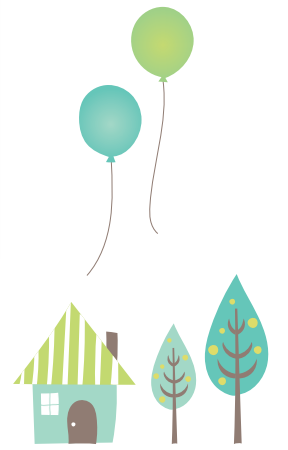
北小6年
岡本 志緒



府中中1年
河野 夢夏



緑中1年
廣川 哩桜



令和7年度

「いじめ防止のための標語」 作品コンクール

このコンクールは、標語を作成することを通して、児童・生徒・保護者が「いじめ」について考える機会とし、いじめ防止を推進することを目的に、教育委員会が実施しています。受賞作品は、カレンダー・のぼり旗などで広く紹介されています。

※いじめに関する相談先については13ページに掲載しています。

府中町いじめ防止対策推進賞

● 見てあげて スマホじゃなく あの子の目

北小保護者 田尾 佳男

● 気付いている？ 笑ってないよ 本人は

緑中3年 古中 彩陽

● いじめゼロ まずは君から その一歩

府中中3年 朝久 陽大

● 考えよう 画面の前の あの子の気持ち

北小5年 宮尾 一檜

● 一言で あの子の心 あたたまる

東小5年 渡橋 百花

● その笑い だれかが傷つく 笑いかも

中央小6年 柴田 明璃

● ノリでやる 相手にとっては 深いキズ

南小6年 志々田和奏

● わらわれる あの子のこころは ないている

府小1年 宇野 明恭

学校賞

教育長賞

- 府小 5年 徳勢 結優 青山 優芽
- 6年 角本 市花 手島 羽菜
- 南小 5年 吉野 藍衣 中崎 里衣子
- 6年 水野 朝陽 福富 咲歩
- 中央小 5年 高垣 さゆり 紙谷 真帆
- 6年 藤本 愛真 尼川 健太
- 東小 5年 兒玉 雅登 平野 羽菜
- 6年 藤川 愛依 船本 悠生
- 北小 5年 務中 友莉菜 牟田 結奈
- 6年 尾崎 千華 松島 勇祐
- 府中中 1年 早川 佳慧 檜崎 文乃
- 緑中 1年 桑原 心音 熊澤 心優
- 安芸府中高 1年 松本 桃子 3年 福田 椿



だれもが 自分らしく 生きられる 社会へ

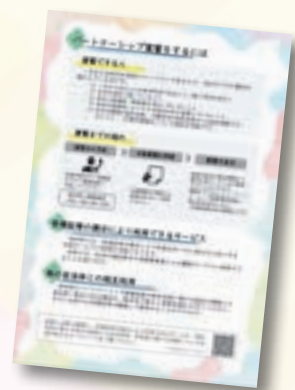


府中町パートナーシップ宣誓制度

● パートナーシップ宣誓制度とは

パートナーシップ宣誓制度は、一方または双方が性的マイノリティである二人が、お互いを人生のパートナーとし、日常生活において協力し合うことを約束した関係であることを公的に認知する制度です。

法的な効力はありませんが、この制度によって、性の多様性に関する社会的な理解の広がりや、お互いの価値観を認め合い、一人一人の心を大切に守りながら、安心感を持って、自分らしい生き方ができる社会が形成されることを期待しています。



府中町では「パートナーシップ宣誓制度」を導入しています。詳しくは府中町ホームページをご覧ください。



6月は「プライド月間」です

毎年6月は、世界各地でLGBTQ+の権利を啓発する活動が行われる期間です。

6色のレインボーフラッグは、性的マイノリティの方々の尊厳と社会活動を象徴するものとして、世界中で使用されています。

6色のレインボーカラーは、赤が「生命」、オレンジが「癒し」、黄色が「太陽」、緑が「自然」、青が「調和」、紫が「魂・精神」を意味しています。

6月 役場ロビー展

令和7年6月に、府中町役場2階で啓発展示を実施しました。



● 男女共同参画週間 6月23日～29日

男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する国民の理解を深めることを目的として、平成13年度より毎年6月23日から29日までの1週間に、「男女共同参画週間」が実施されています。

令和7年度は、「『人材の育成・ネットワークの形成』を軸とした取り組みを進めること」を重点として、「誰でも、どこでも、自分らしく」というキャッチフレーズのもと、全国で男女共同参画社会の実現に向けた取り組みが行われました。

府中町でも、講演会及び啓発展示を行いました。

男女共同参画週間行事として 講演会を開催しました



会場では、多くの人が終始笑顔で聴講されていました。

広島本大賞を受賞した
「男子校の生態」⇒



人権・男女共同参画講演会

コンテくんが、やってきた



コンテくん

『自分らしさ』について 一緒に考えてみました

令和7年6月21日（土）に、くすのきプラザギャラリーで、人権・男女共同参画講演会を行いました。

会場は100名の参加者でいっぱいでした。

講師には、広島本大賞を受賞した「男子校の生態」の作者である「コンテくん」をお招きし、「コンテくん」誕生の話、個性的で愉快的な仲間の話などを聞きました。会場は終始和やかな雰囲気でした。

一人一人が自分らしく生きることについて考えることができました。

“表現のガイドライン”を作成しました



詳しくは、
府中町ホームページを
ご覧ください。



府中町では、男女の人権が尊重され、かつ、社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある社会の実現をめざすため、平成19（2007）年に「府中町男女共同参画プラン」を策定以来、様々な施策に取り組んできました。

現在は、令和4年3月に策定しました「府中町第4次男女共同参画プラン」に沿った施策を進めるとともに、令和4年4月に、「府中町パートナーシップ宣誓制度」を制定し、性の多様性を尊重しあい、すべての人が共に生きている社会の実現を目指しています。

そのためにも、行政が発信する広報紙やウェブサイトなど様々なメディアにおいて、表現をする際には、固定概念や偏見の助長につながらないように意識して、慎重に表現しなければなりません。

しかし、私たちが発信する情報について、受け手はその情報から固定的な性別役割分担意識を知らず知らずのうちに形成してしまう可能性があります。

そこで、新たに「表現のガイドライン」を作成しました。情報発信を行う際に、ジェンダーの視点からどのような表現が問題となるのか、より適切に表現するにはどうしたらいいかを考える参考として、ご活用いただけます。

再犯防止に向けて

問い合わせ先

府中町町民生活部自治振興課 人権推進室
(TEL) 082-286-3165

罪を犯した人等の中には、立ち直りに向けた様々な課題を抱えており、刑事手続き終了後も受刑による社会との隔絶も重なるなど、様々な生活上の困難、生きづらさを抱えている人が少なくありません。犯罪をした人の内、再犯者の割合は依然として5割程度あり、再犯防止対策は極めて重要な課題になっています。

平成28年に「再犯の防止等の推進に関する法律」が制定され、同法を受け、平成29年に「第一次再犯防止推進計画」が策定され、令和5年に「第二次再犯防止推進計画」が策定されました。

府中町においては、地域福祉との政策的なつながりがあることを踏まえ、府中町第3次地域福祉計画第4章「再犯防止・更生支援」を府中町再犯防止推進計画と位置づけ、地域福祉の推進と一体的に施策を進めています。

府中町再犯防止推進計画 取組の方向性

- 関係機関・団体との連携
府中町保護司会、府中町更生保護女性会と連携し、再犯の防止と更生支援を推進します。
- 就労に向けた相談・支援
- 住居の確保
- 学校等と連携した取組の実施
- 広報・啓発活動の推進

再犯防止 パネル展
(役場庁舎2階ロビー)



更生ペンギン ホゴちゃんとサラちゃんの更生ものがたり (法務省保護局HPより引用)

更生ペンギンのホゴちゃんとサラちゃんは、立ち直ろうとしている人をいつも温かく見守り、犯罪や非行のない幸せな社会を願う心優しいペンギンです。更生保護のマスコットキャラクターとして、活躍中。



拉致問題に対する 理解促進のための啓発事業

拉致の可能性を排除できない方々は、13名とされ、新潟県で拉致されました横田めぐみさんは、拉致される1年前まで、広島市内の小学校に通っておられました。

拉致被害者等のご家族は年々高齢化しており、1日も早い帰国の実現が望まれます。

映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」
上映会

※2000年製作映画「めぐみへの願い」とは異なりますのでご注意ください。

令和7年7月13日(日) 13:30~15:30 (開場13:00)

府中公民館 大ホール
(〒735-0006 府中町本町二丁目15-1)

主催 政府拉致問題対策本部 広島県 府中町

【問合せ先】
〒735-3886 府中町大通三丁目5-1 府中町自治振興課人権推進室 TEL. 082-286-3165

映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」上映

拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律第3条に「地方公共団体は、国と連携を図りつつ、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民世論の啓発を図るよう努めるものとする」とあり、市町には積極的な広報・啓発が求められています。

府中町では、令和7年7月13日(日)に、国、広島県との共催事業として、映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」の上映会及び啓発パネル展示を府中公民館ホールで行いました。

当日は、266人が来場され、1日も早い帰国の実現を願いました。



政府の取組の説明
(内閣官房拉致問題対策本部事務局)



会場はたくさんの方が駆けつけました



署名活動の様子



啓発パネル展示



条例に基づく支援について

令和7年
4月1日より

府中町犯罪被害者等支援条例制定



犯罪被害者支援等シンボルマーク
「ギュッとちゃん」

犯罪被害者に遭われた方やその家族等は、生命・身体への直接的な被害だけでなく、経済的な損失や周囲からの心ない言動、プライバシーの侵害などの二次的被害を受ける場合もあります。

府中町では、本条例を制定し、犯罪被害者等に必要な支援を行い、町民が安心して暮らすことができる地域社会の実現に取り組んでいます。

● 経済的負担の軽減

一時的な経済支援として見舞金の支給を行います。

- ・遺族見舞金 30万円
- ・傷害見舞金 10万円

● 日常生活の支援

日常生活を円滑に営むため、適切なサービスが提供されるよう、支援を行います。

● 心身に受けた影響からの回復

精神的な被害からの早期回復に向けて、必要な保健医療サービス及び福祉サービスの提供等の支援を行います。

● 相談及び情報の提供等

犯罪被害者等が日常生活及び社会生活を円滑に営むことができるよう、様々な問題について相談に応じ、必要な情報の提供や関係機関等との連絡調整を行います。

● 居住の安定

従前の住居での居住が困難となった方の居住の安定のため、一時的な住居の提供等の支援を行います。

● 雇用の安定

雇用の安定のため、犯罪被害者等の置かれた状況について、事業者の理解を深めるための必要な施策を行います。

本条例に関する問い合わせ先

府中町町民生活部自治振興課 人権推進室
(TEL) 082-286-3165

虐待の相談窓口

● こどもへの虐待について

- ・府中町こども家庭センター (子育て支援課内/役場2階④窓口)
082-286-3224 (月～金 8:30～17:15)
- ・広島県西部こども家庭センター
082-254-0381 (月～金 8:30～17:00)

● 高齢者への虐待について

- ・府中町 高齢介護課 高齢者福祉係 (役場2階⑩窓口)
082-286-3256 (月～金 8:30～17:15)
- ・府中町地域包括支援センター
082-285-7290 (月～金 8:30～17:30)

● 障害者への虐待について

- ・府中町 福祉課 障害者福祉係 (役場2階⑥窓口)
082-286-3161 (月～金 8:30～17:15)

女性の相談窓口

● 暴力やいじめ、セクハラやストーーカー行為

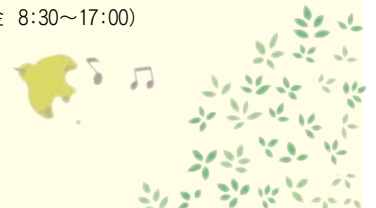
- ・みんなの人権110番 (法務局・人権擁護委員)
0570-003-110 (月～金 8:30～17:15)

● DV・性暴力など女性の相談

- ・よりそいホットライン ((一社) 社会的包摂サポートセンター)
0120-279-338 ※24時間 通話料無料

● 配偶者やパートナーからの暴力に関する相談

- ・広島県配偶者暴力相談支援センター
(広島県西部こども家庭センター)
082-254-0391 (月～金 8:30～17:00)





犯罪被害者等法律援助

●制度のポイント

犯罪の被害にあわれた方やそのご家族が、**刑事・民事・行政**その他の様々な手続について、弁護士による支援を受けられます。

制度の利用は、**原則**として無料です。

- ・法律相談は、同一案件につき3回まで。
- ・代理援助について、相手方から一定額以上の金銭等が回収できた場合には、援助費用の全部（又は一部）をご負担いただく場合があります。

弁護士による支援の例

刑事	捜査機関への同行、刑事裁判への付き添い
民事	損害賠償の請求、示談交渉
行政その他	犯罪被害者等給付金の申請、報道機関対応

●ご利用いただける方（令和8年1月13日以降に被害にあわれた方）

対象となる犯罪

①故意の犯罪行為により人を死亡させた罪

（未遂を含みます）

（殺人、傷害致死、強盗殺人、危険運転致死など）

②刑法における一定の性犯罪等

（未遂を含みます）

（不同意性交等、不同意わいせつなど）

③故意の犯罪行為により人を負傷させた罪により治療期間が3か月以上又は一定の後遺障害（後遺障害等級第14級以上）の被害を受けた場合における当該犯罪

（傷害、危険運転致傷など）

資力要件

申込者とその配偶者の現金、預貯金等を足した額が300万円以下であること。

犯罪被害に関する様々な手続について
弁護士の支援が受けられます

●犯罪被害者支援ダイヤル

日本司法支援センター 法テラス

* 法テラスは、国が設立した公的な法人です。

0120-079714

* 通話料無料

* IP電話からは、**03-6745-5601**

受付時間 平日 9:00~21:00

土曜日 9:00~17:00

（日曜日、祝日、年末年始は休業）

心配なこと
困っていることなど

ひとりで悩まず
相談
してみませんか？

人権に関すること

●いじめや嫌がらせなど、さまざまな人権問題

・ **みんなの人権110番**（法務局・人権擁護委員）

0570-003-110（月～金 8:30～17:15）

・ **府中町 人権推進室**（役場1階⑩窓口）

082-286-3165（月～金 8:30～17:15）

・ **SNS人権相談**



犯罪被害に関する相談

・ **広島被害者支援センター**

082-544-1110（月～土 9:00～17:00）

子どもに関すること

●家庭や学校などでの悩み

・ **子どもの人権110番**（法務局・人権擁護委員）

0120-007-110

* 通話料無料（月～金 8:30～17:15）

●いじめや友人関係の不安や悩み

・ **24時間子供SOSダイヤル**（文部科学省）

0120-0-78310 * 通話料無料

性のあり方に関する相談

・ **エソール広島 LGBT相談**

082-207-3130（毎週土曜日 10:00～16:00）

ヒューマンフェスタ 2025in府中町

「ヒューマンフェスタ」は、人権について正しく理解し、お互いに尊重しあえるまちづくりをめざして、また、障害のある人ない人にかかわらず、住みよい府中町をめざすイベント「スマイル21」との合同イベントとして実施しました。

本年度も、より多くの人への啓発を図るため、イオンモール広島府中で開催しました。ステージイベントは、スターギャラリーで実施しました。



一日人権擁護委員委嘱式
(一日人権擁護委員
STU48 尾崎世里花さん)



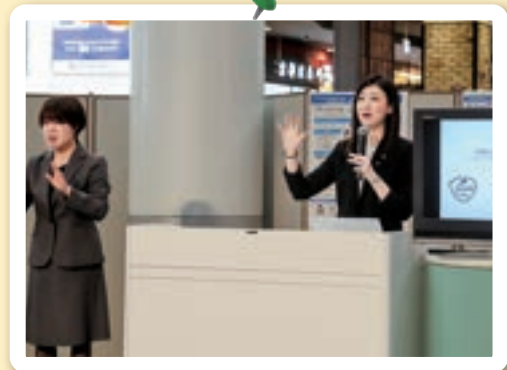
オープニング



人権クイズ



人権啓発書道コンテスト表彰式



坪内知佳さんの講演会

第28回スマイル21

イオンモール広島府中のウエルカムコートで、スマイル21関係団体による販売コーナーを開催しました。



物販コーナー